2026年11月12日

各　位

会 社 名　　コージンバイオ株式会社
代表者名　　代表取締役社長　中村　雄一
（コード：177A　東証グロース市場）
問合せ先　　財務経理部長　髙橋　晴香
（TEL　049-298-4154）

通期連結業績予想及び期末配当予想の修正（減配）に関するお知らせ

当社は、2026年11月12日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2026年５月15日公表の「2026年３月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で開示した2027年３月期（2026年４月１日～2027年３月31日）の連結業績予想及び期末配当予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

１．2027年３月期　通期連結業績予想数値の修正（2026年４月１日～2027年３月31日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり連結当期純利益
前回発表予想（Ａ） (2026年５月15日公表)	百万円 4,722	百万円 137	百万円 147	百万円 110	21円65銭
今回修正予想（Ｂ）	4,009	△ 126	△ 89	△ 103	△20円22銭
増減額（Ｂ－Ａ）	△ 713	△ 263	△ 236	△ 214	－
増減率（　％　）	△ 15.1	－	－	－	－
（参考）前期連結実績 （2026年３月期）	4,939	341	340	251	49円11銭

２．修正の理由

2027年３月期通期連結業績予想につきましては、組織培養事業において中国における関連条例の施行に伴う規制強化の影響を受け、OEM培地需要が減少、連結子会社である高金生物科技（上海）有限公司の売上高が当初予想を大幅に下回る見込みとなりました。

微生物事業においてはインフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症の感染者数が低水準で推移し、抗原検査キット製品の売上高は当初予想を下回る見込みとなりました。

細胞加工事業につきましては、事業全体の売上高は予想を上回るも、日本国内で自由診療として細胞治療を受ける中国からの患者数が減少、受託売上高は当初予想を下回る見込みとなりました。

以上の理由により、連結売上高及び各段階利益も当初予想を下回り、営業損失、経常損失及び親会社株主に

帰属する当期純損失を計上する見込みとなることから、上記のとおり通期連結業績予想を修正させていただきます。

３．2027 年３月期　配当予想の修正（2026 年４月１日～2027 年３月 31 日）

	年間配当額		
	第２四半期末	期末	合計
前回予想 （2026 年５月 15 日公表）	円　銭 0　00	円　銭 10　00	円　銭 10　00
今回修正予想		5　00	5　00
当期実績	0　00		
前期実績（2026 年３月期）	0　00	10　00	10　00

４．期末配当予想修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と位置づけ、安定的な配当を継続することを基本として、連結業績を考慮し、併せて経営体質の強化と将来の事業展開等を総合的に勘案し配当を決定する方針を採用しております。

このたび、2027 年３月期の連結業績予想の修正に伴い、営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する当期純損失を計上する見込みとなったことから、今後の財務基盤の安定性や事業展開に必要な内部留保の確保等を総合的に勘案し、１株当たりの期末配当予想を当初予想の 10 円から５円に修正することといたしました。

(注) 見通しに関する注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因により大きく異なる可能性がございます。

以　上